

LPガスCP情報(2017年4月積み)

1. 4月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン430^{ドル} (前月比-50^{ドル})

ブタン 490^{ドル} (前月比-110^{ドル})

① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、原油・石油製品市況が急落するなか、LPガス暖房需要はピークを過ぎ先安観が強まり軟化した。4月着玉を巡り産ガス国の減産や霧の影響による米国玉の積出し問題など一時、需給がタイトとなり市場が過熱する場面もあった。特にブタンは売り手が見当たらずプロパン・ブタン格差が拡大したが、中東供給の回復と米国ブタンカーゴの手当てで格差は縮小してきた。CP先物はプロパンが405~435^{ドル}で推移、ブタンは第3週に500^{ドル}割れ。フレート市況は上昇した。インド、アフリカの船舶需要と米国市況高の影響。極東CFR市況は第4週末にプロパン460^{ドル}へ反発、ブタン510^{ドル}どころに軟化した。

一方、米モンベルビュープロパンスポット価格(FOB)は、全米プロパン在庫が輸出増と暖房需要増で減少し高値で推移していたが、需要期を過ぎ月初の322から第4週末には297^{ドル}へと軟化。月間平均は321^{ドル}/トン、前月比80^{ドル}の下落。

ナフサは原油市況に連れ安、月間平均は470^{ドル}、前月比45^{ドル}の急反落。バンカーオイルも原油市況に追随し続落、月間平均で301^{ドル}、前月比21^{ドル}の下落。

4月CPは前年同月比プロパン110^{ドル}、ブタン140^{ドル}高。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン6ポイント、ブタン18ポイント低下、前年同月比ではプロパン11ポイント、ブタン7ポイントそれぞれ低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	27	25	29	35	29
CP先物指標：P	405	435	415	430	421
CP先物指標：B	485	535	485	480	496

② 原油市況等

WTIは3月53.83^{ドル}でスタート、12月のOPEC・非OPECの協調減産合意の履行が確認され堅調に推移したが、北米のリグ稼働数が急増2015年10月の水準(809基：ガス・石油計)にまで回復し、米国の原油生産量は2016年2月以来の日量915万バレルまで増加、米原油在庫は5億3千万バレル超と過去最高を更新し記録的超高水準に積み上がり、協調減産効果が米国の増産に減殺されるとの懸念から9日には50^{ドル}割れ、中旬以降は昨年11月30日のOPEC減産合意以前の価格水準に戻した。6月以降の協調減産延長期待が下支えしているものの米シェール増産、在庫高が上値を重くしている。

一方、NYMEXのWTI総取組高は222万枚超まで増加、大口投機玉の買越残高は2月21日時点で55.7万枚と過去最高を更新したが、米株価が反落したため利食い売りで買建玉は手仕舞われ買越残は42万枚に減少、売建玉は24万枚に増加。

○3月積みアラビアン・ライト(3月1~29日まで)は51.62^{ドル}(前月比-2.99^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン423.23^{ドル}/トン ブタン417.43^{ドル}/トン

AL比 プロパン101.60% ブタン117.38%

*上記アラビアン・ライトはEIN推計値、確定値は後日、Webサイトでご確認ください。

2. 2017年4月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
21~20日①	114.80	52,200	62,600	-4,400	-6,000
26~25日②	114.47	52,100	62,400	-4,500	-6,200
1~31日③	114.08	51,900	62,200	-4,600	-6,300

*TTS平均について、①が2月21日~3月20日、②は2月26日~3月25日、③は3月1~30日まで、①、②、③ともに4月仕切適用。①、②、③いずれも前月・当月CP50%案分。なお、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。なお、2017年1月から一部元売プロパン仕切のフォーミュラがモンベルビュープロパンスポット価格とCPの合成FOBに変更されています。